

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800325		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム あかるい家		
所在地	夕張郡由仁町東栄16-18		
自己評価作成日	平成24年3月13日	評価結果市町村受理日	平成24年4月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者様お一人お一人の思いを大切に耳を傾け顔を見てお話をさせていただき、不安なく生活できますように共に過ごさせていただいております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigocho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175800325&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成24年3月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームあかるい家」は、JR由仁駅から車で5分ほどの静かな住宅地に位置している。各職員は、代表者の指導の下、接遇に配慮して丁寧で温かみのある言葉がけをし、利用者がありのままの姿でゆったりとした楽しい生活ができるように支えている。献立は、季節の食材を活かして、彩りの良いバランスのとれたおいしい食事を提供しており、利用者からも喜びの声があがっている。個別の外出支援にも柔軟に対応すると共に、冬季以外は、近隣の散歩以外に東屋や庭で外気浴をしたり、利用者に応じた畑仕事を一緒に行うなど、戸外に出かける機会を積極的に作り、殆どの利用者が週に数回出かけられるように支援している。かかりつけ医の受診支援を事業所で行う事で、医師との連携も深められ、適切な医療が受けられるように支援している。入浴は、工夫した柔軟な支援を行うことで強く拒否する利用者もなく、週2回以上と多くの入浴が行われている。代表者は各職員の意見に常に耳を傾け、環境整備をはじめ、職員から出される意見や提案を運営に反映させるように取り組んでいる。職員と利用者は信頼関係も深められ、家庭的な環境で穏やかに過ごしているグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果		項目	取り組みの成果	
	○	↓該当するものに○印		○	↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている(参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている(参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を頭に置き共有していますが、日々の状況により「あとで」になってしまう事もあります、反省しながら実践し努力致しております。	理念のひとつに、「地域とともに」という地域密着型サービスの意義を踏まえた文言を入れ、パンフレットに記載している。各職員は、居間に掲示している理念を意識しながら実践に努め、仕事に追われる時は、「ゆったりと」という項目を特に配慮しながらケアを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアの方が毎月入居者様のヘアカットに来てくださったり、除雪の手伝い、夏祭り参加、夏場には畑作業中に声を掛けてくださったりと交流がございます。	地域の廃品回収に協力したり、事業所の夏祭りやクリスマス会に地域住民が参加している。外出時に挨拶を交わして日常的に交流したり、年数回、踊りや茶道ボランティアの方が来訪している。今年度は、中学生が職業体験で訪れ、利用者とは交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏場畑作業中に、散歩中等、町内の方々には入居者様とスタッフとの作業会話等見たり聞いたりし、支援対応に興味深くご覧下さっていました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	スプリンクラーの管理について一度も使用しなかった事を安心推進会議でご家族様と町内役員様福祉担当様に利用者様の日々の取り組み、サービス内容反省向上についての意見も頂いております。	年度初めに、事業所の年間行事計画と共に予定を作成したが、法人の事情などにより、3回の開催にとどまっている。町内会役員や家族の参加を得て、災害対策などの議題を中心に、うち1回のみ役場職員が参加している。	参加できない家族の意見も反映できるような、議題設定を工夫した年間計画を作成し、定期的な開催が行われるように期待したい。また、毎回役場職員が参加できるような働きかけを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役場、消防、自治会の方々とは推進会議、火災訓練、受診時、認定調査等の来訪時等に交流させていただき、協力関係をお願い致しております。	認定調査で来訪した時に、利用者に関する具体的なケアについてアドバイスをもらって日々の支援に活かしている。法人本部は、役所と常に連携を深めており、わからない事や困った事があれば、本部に連絡をして役所と連携を取り課題を解決している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人マニュアルや他の情報も取り寄せ、日常又は毎月のミーティングに学習を取り入れ、「禁止行為」や言葉による拘束を実例を挙げ学習、日々反省しながらケア致しております。	法人で作成した、身体拘束に関する項目チェックリスト資料を準備しているが、禁止の対象となる具体的な行為のマニュアル整備は今後の課題となっている。玄関の鍵は夜間のみ施錠し、利用者が出かけようとした時は、職員と一緒に外出して安全面に配慮している。	法人のマニュアルに加えて、禁止の対象となる具体的な行為のマニュアルを整備し、職員間で再確認するように期待したい。また、言葉による拘束の実例として挙げられた言葉を記録し、日々のケアに更に活かされるように期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人マニュアル他、情報収集のもと、ミーティング学習にて実例を挙げながら反省も含み防止に努めております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	パンフレット回覧により各自学び支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時家族様との契約時に十分に説明し、ご理解頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の要望にいつでも耳を傾け、納得していただけるまで対応させていただいております。又、利用者様の病気の件にて食事制限内容のご理解も頂けています。	家族が来訪した時や外出先で会った時に、言葉使いに配慮しながら意見や要望が言いやすいような雰囲気づくりに努めている。家族の意見は、「家族との連携ノート」に個別に記録して、職員間で内容を共有するように工夫している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案はミーティングの際や本部への連絡時等にいつでも対応できるよう努めております。	管理者は、ミーティング時に各職員の意見や提案を聞いたり、個別に話をして相談などを受けている。職員から出された段差の解消や手すり設置などの要望は、すぐ本部に連絡して改善されている。本部は、職員から出される意見や提案を運営に反映させるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力、実績勤務状況を本部が把握し、職員と話し合いしやりがいなどを見いだしつつ、給与等にも反映されるよう努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務の遂行にあたり、無理のない範囲で研修等に参加したり、ミーティングを開催し実践に活かせるよう進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	様々な機会を通じて、交流し意見交換の場を設けております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時の不安を身体状況から察する努力を怠らず、傾聴に努め、安心していただける関係作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	情報の収集を何度でも行ない、ベッドの向きや身に付いた習慣、昔からの愛用品の把握等についてのアセスメントの上、自宅生活の延長の支援ができればよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族との十分な情報交換を第一に行ない、急がずに心身の状況を観察し必要な支援を見極め、対応させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	身の周りの整頓、洗濯物の片付け、拭き掃除等、身体状況に合わせて共に行ない「私も役に立っている」という自信を持っていただけるよう努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の困りごとを通して、ご家族と一緒に考えを共有し支援させていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔住んでいた地域の近所の方が来所されたり、受診時お会いされる等して交流の場を持ち支援させていただいております。	知人が来訪した時は、お茶を出して居室などでゆっくり過ごしてもらうように配慮している。職員は、知人からの電話を取り次いだり、希望に応じてお墓参りや自宅を見に行くなど、個別に支援を行っている。ドライブの途中に、馴染みの場所を聞いて立ち寄る事もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロア内で楽しく過ごせますよう座り場所等も配慮し支援させていただいております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域でお会いした際などに声を掛けていただき、お話をさせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	特に入居時や退院後、再アセスメントをし、その人らしい生活ができますよう支援いたしております。	利用者に応じて具体的に問いかけたり、仕草で思いを把握して意向に沿った支援ができるように努めている。新しく得られた情報は、気づいた事を記入する「LOOK帳」や情報シートに記録して蓄積し、職員間で統一した支援ができるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴をアセスメントし、安心して暮らしていただけるようスタッフ周知の上、サービスに繋がられるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活パターンに沿って心身状態に気を配り、現状把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状況を見ながら報告しあい、より良い計画作りに努めております。	新規利用者の介護計画は、1か月半ほどで見直しを行っている。定期的な見直しは、利用者担当職員と計画作成担当者が中心に評価を行い、家族の意向を確認しながら3か月毎に更新計画を作成している。	日々の記録方法を介護計画と連動させる事で、更に計画の見直しに活かされるように期待したい。また介護計画の見直し時に、全職員や関係者の意向が反映できるような仕組み作りを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画の周知と共に実施や反省等を通し、見直しに努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズの変化に応じて情報収集を行ない、安心して暮らしていただけるように取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の行事に参加させていただき、自身も地域と繋がりをもち暮らしていただけるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前と変わらず、病院薬局を使用しております。又、ご家族の意向のもと、訪問診療を受けている方等、本人のニーズに応じて医療を受けられるよう支援しております。	現在、個別に契約して1名が訪問診療を利用している。他の利用者は、かかりつけ医の受診を事業所が継続支援しており、医師との連絡も密に取られている。受診結果は個別に記録して、健康状態の流れが把握できるように工夫している。	

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当ホームには看護師不在の為、定期・不定期通院の再主診医、看護師との連携を図り指示を頂き、支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院手続きや荷物の用意、担当医との情報交換、面会等を行ない、入院の様子や退院の時期など医療機関と連携を図り、適した関係づくりに努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	1月に重度化されたN様のターミナルケアを行いました。この方は訪問診療を受けていた為、ミーティングの際ご家族の強い要望によりホームでのターミナルケアとなりました。スタッフ同一丸となり看取らせていただきました。	「重度化に伴う対応指針」や「ターミナルケアの方針」を作成し、医師や看護師の指導を仰ぎながら、今年度、初めて事業所で看取りを行っている。ターミナルケア介護記録に、家族・医師・事業所の三者間の話し合いの流れや本人の体調変化などを詳細に記録している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々のケア、ヒヤリハット状況を資料に残し、より良い対応等を考え、状況に応じて適切な対応ができるよう努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと、昼夜対応の避難訓練を行っております。	年間2回、消防署の協力の下、昼夜を想定した火災避難訓練を実施している。地域の役割分担を確認し、うち1回は近隣住民も参加している。次回は、地震想定での避難訓練を予定している。災害時の備蓄品は、現在法人本部に整備している。職員の定期的な救急救命訓練講習は、今後の課題となっている。	職員の定期的な救急救命訓練の受講と、最小限現場で必要と思われる災害備蓄品を事業所内に整備されるように期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	羞恥心に配慮し素早くケアを行ない、ご本人の人格を尊重した対応を心掛けております。	呼び方は苗字にさん付けを基本とし、上からの物言いや押しつけがましい言い方にならないように気を付けている。着脱衣の時の羞恥心への配慮も行き届いている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	共に過ごし、スタッフに思いを伝えやすい雰囲気作りに努力しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	主体は利用者様と強く認識し、個人の希望にそって支援するべく努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時は着替え、鏡を一日に一度は見ていただくよう促しております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食の楽しみを倍増するように行事に変化を付け、リクエストを聞き、好みに応じて対応しております。スタッフも共にテーブルに付き楽しく食卓を囲んでおります。	献立のプランは法人本部の方から提供されるが、変更は自由で、利用者の好みに応じて鍋物、鉄板焼き、おはぎなどを食卓に載せて楽しんでいる。家族の差し入れや庭で取れた作物で食卓がにぎわうこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は個人の状態により異なりますが、チェック表にて確認し、食事の内容量やバランスも考慮し支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けをし口腔ケア、義歯洗浄を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握した上で声かけや介助を行っております。	全員、排泄の時間帯と量を記録してパターンを把握し、仕草の判断なども併せて適時に声かけ誘導して自立を促している。おむつやパットなどは、家族の費用負担の面からも極力減らすように努力している。退院時に悪化した状態からの改善事例も見られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事内容や運動の働きかけ等個々に応じた対応で予防に取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の要望、体調に応じ対応しております。	日曜日を除く毎日、午後が入浴時間帯となっている。各人、週に2回以上入浴できている。入浴を洗る人も時間や職員を変えることで結果的には気持ちよく入浴してもらっている。風呂上がりの甘い飲み物なども楽しみの一つになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態に応じゆったり眠っていただけるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医と相談し服薬していただき、申し送り等も欠かさず行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	リハビリを取り入れたレクリエーションや畑の指導、ゲームなど、楽しんでいただけるよう支援しております。		

グループホーム あかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季の変化を楽しめるよう散歩やドライブなどを行っております。	夏場はほとんど毎日外出し、全員が週に数回は外に出ている。近所を散歩したり、庭の東屋や玄関先のベンチで休んだり、畑仕事をしたり、それを見たり、飼い犬と戯れるなど、様々な機会を作って外出を楽しんでいる。冬は受診が貴重な外出の機会になっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理できる方はご自分で所持していただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方のご家族様からお荷物が届いた時など本人から電話等でやり取りをしていただいております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日整理整頓に努め、利用者様に不快感を与えないよう共同空間には特に配慮しております。又、できる限り四季を感じていただけるように花を飾ったり、外の景色を見ていただいたり、食材にも季節感を取り入れるよう努めております。	居間と食堂と台所が一体化し、広い空間と高めの天井が明るく開放的な居住空間を作っている。壁の絵画などはほどよく、幼稚なくどさがなく上品な装飾が施されている。洗面所、トイレ、浴室も広く清潔で明るい造りになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の心身の様子を見守りながら話し合い場所の工夫をし、自由にくつろいでいただけるよう声掛け等をして誘っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れている馴染みの寝具、お気に入りの着衣、家族の写真や家具等、ご本人が以前と同じ生活空間を感じ、居心地良く生活していただけるよう支援致しております。	床は汚れればすぐ張り替えて、いつも清潔が保たれるように管理されている。各居室にはベッドとタンスが標準装備されているが、利用者は好みに応じて家具や仏壇、ぬいぐるみなどの置物、装飾、写真などを持ち込み、設置して、個性のある、温かな生活空間を作っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は玄関からバリアフリーで各所には手摺設置、トイレも車椅子対応できる広さで、見守り、一部介助で生活できますよう工夫させていただいております。		

目標達成計画

作成日：平成 24年 4月 9日

市町村受理日：平成 24年 4月 13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	年度初めに年間行事計画と共に予定を作成しましたが、運営推進委員様の辞退がありました。雪の多い冬でもあったために、委員様、ご家族様へのお誘いに遠慮があり計画通りに行えなかった。	年間行事予定を立て誘いの工夫をし、皆様が気軽に参加出来るように進めて行きたい。	年間4回を目標に身近な議題で通知し、電話等でも連絡を行い、親しみやすい関係作りから初めながら、お誘いして行きたい。	6カ月
2	35	定期的に避難訓練等を行っているが、救急救命訓練の受講にはスタッフ全員の参加が出来ていなかった。今年度は、全員が参加して行きたい。また、備蓄品においても、法人で安心な場所にまとめて置いているが、より一層安心出来るように整備して行きたい。	入居者様に安心して生活していただく為に、講習、備蓄品等の整備を行って行きたい。	本部との調整のもと、講習、備蓄品の整備を行って行きたい。	6カ月
3	26	3カ月毎のケアプラン評価及び、特変時の評価は行っているが、毎日のプランとの連動性があまりなかった。	日々の記録と連動したプランを作成し更にプラン見直しに力を入れて行く。	4月より即作成し開始しています。	即日
4	6	身体拘束の禁止マニュアルはあるが、その中で具体的な禁止の対象となる行為について整備されていなかった。	再度、ミーティング等で禁止項目の学習をしなおし、マニュアルにも整備する。	4月のミーティングの議題として掲げて行い、日々の関わりでも互いに注意していきながら、禁止項目を確認して行きます。	1カ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。